

京都第一赤十字病院消化器内科で表在食道癌に対しての内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal Dissection: ESD) を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

食道 ESD の長期予後についての検討へのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院消化器内科は、市立福知山市民病院を主体とする京都府立医科大学関連病院の消化器内科と協力して食道 ESD の長期予後についての検討を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院消化器内科で表在食道癌に対しての内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal Dissection: ESD) を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

食道 ESD が保険収載されて 10 年経過して手技の安全性は確立しつつありますが、長期予後についての見解は未だ統一されたものはないのが現状です。本研究では、食道 ESD 後の長期予後を明らかにすることを目的とします。

・対象となる患者様について

平成 19 年(2007 年)1 月 1 日～平成 27 年(2015 年)12 月 31 日に当院で食道 ESD を施行した患者を対象に、全生存率や疾患特異生存率などを後向きに検討をします。

・方法について

対象となる患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。対象患者様の臨床情報、内視鏡所見、病理学的情報を抽出します。抽出された情報は、個人情報情報を消去し匿名化されます。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧は可能です。ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、令和 2 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理委員会において、適切な研究であると承認されています。

この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先：京都第一赤十字病院消化器内科

医師 山田 真也 電話：075-561-1121（代表）

研究責任者：市立福知山市民病院消化器内科

医師 岩井 直人 電話：0773-22-2101（代表）